

## 『青谷駅前の巨大灯籠の修繕・設置』

(8月27日～9月3日実施)

# 巨大灯籠修繕復活

## 青谷高生 地域住民の依頼受け

J R 青谷駅前

J R 青谷駅(鳥取市青谷町)の前にあった巨大灯籠が地元の青谷高の生徒の手によって修繕され、3日、再び駅前に設置された。高校の課題探究の授業の一環で、地域住民から依頼を受けて実施。地元の「シンボル」がリニューアルしてお目見えした。

(渡辺暁子)

灯籠は高さ2・8メートル。和紙灯籠で川を彩る「あ 傷んでいた。市がバス待合 製で、地元の国史跡青谷上 おや夢灯ろう」に合わせて 所を刷新するのを機に、修 寺地遺跡にちなんだサメ型 15年ほど前に作られたが、 繕の話が持ち上がった。 長年の風雨で塗料が剥がれ 取り組んだのは、課題探

究で因州和紙を学ぶ3年生 10人。灯籠を高校に持ち帰 り、8月末に地元の塗装業 者の指導を受けながら色を 塗り直した。この日は、趣 のある色合いに仕上がった 灯籠を男子生徒3人が中心 となって運び出して設置し た。

浜田瑠菜さん(18)は「丁 寧に教えてもらったのでい い仕上がりになった。青谷 駅の顔として、待ち合わせ 場所などにしたい」と笑顔。 宇野朝陽さん(17)は「青谷 の良いスポットになってほ しい」と話した。



修繕した灯籠の設置作業に汗を流す生徒ら(右)3日、鳥取市青谷町青谷の J R 青谷駅前